

銀座NAGANOの 今後の方向性について



銀座NAGANO

令和5年（2023年）11月21日
長野県 営業局

建物に係る来年度からの賃貸借契約条件

賃借料

据え置き（税抜きで、現行賃借料と同額）※

4フロア(1、2、4、5階) **月額： 8,225,910円** (税込み)

年額： 98,710,920円 (税込み)

※消費税が8%→10%。月額149,562円、年額1,794,744円の増

契約期間

10年間（現行契約期間と同期間）

【現】 平成26年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月31日

【新】 **令和 6年 4月 1日 ~ 令和16年 3月31日**

銀座NAGANOの設置目的・コンセプト等

【設置目的】

信州ブランド戦略の一環として、信州の「ヒト・コト・モノ」をトータルで発信し、コアな信州ファンを創造する

【基本コンセプト】

- ・「フェア」ではなく、「シェア」
- ・「伝える」だけでなく、「つながる」
- ・「観光地」ではなく、「関係地」

【成果・課題】

- ・信州ファンの獲得に貢献も、**来館者属性に偏り（40～60代中心）**あり



- ・コアな信州ファンによるつながりを広げるため、これまでのファン層も大事に
- ・少子化と人口減少に対応するため、
首都圏における**女性・若者を中心とした新規ファン層の獲得**が必要
- ・首都圏と長野県をつなぐ（コネクト）機能に加え、
県出身者等ゆかりのある人をつなぎなおす（リコネクト）機能の強化が必要

銀座NAGANOリニューアルの方向性（課題解決に向けて）

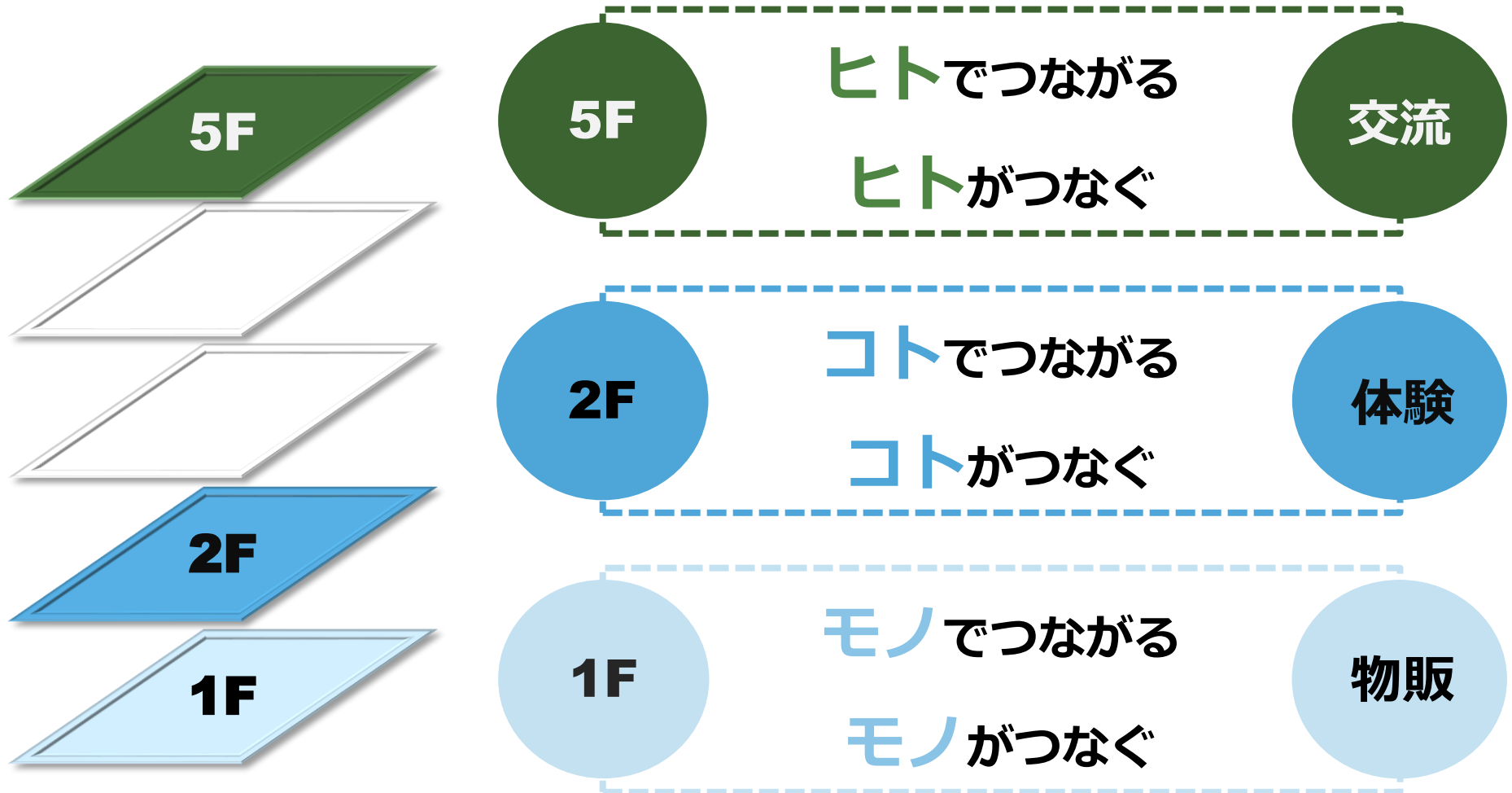
【テーマ】 ～ 長野県と首都圏とをつなぎ、人と人との絆を創出する拠点 ～

- 【考え方】
- ・ 基本コンセプトは継続 → 単なる物産館ではない多機能施設である
 - ・ 各フロア機能の再整理 → お客様ファースト視点で再整理
 - ・ しあわせ信州創造プラン3.0「新時代創造プロジェクト」の具現化に貢献

今後のスケジュール

- ・ R6年度 建物内装工事発注・施工
- ・ R6.10 10周年にあわせてリニューアルオープン

各フロアの方角性



1F モノでつながる、モノがつなぐ

－物販のフロア－

これまで コアなファンが訪れる店

- ・ 飲食と物販が混在
- ・ 入口のバルをシンボルにお客を誘引
- ・ バルが販売・回遊動線を圧迫
- ・ バルの排水設備のため段差が発生

これから 誰でも気軽に入れる店

- ・ 飲食と物販を分け、物販に特化
- ・ 入口に企画スペースを設け、
販促活動や目玉商品の陳列等で
通りがかりの人を誘引
- ・ 販売・回遊動線を確保
- ・ 段差解消によるバリアフリー

改修案

- ・ バルを2Fへ移設
- ・ バルの移設に伴い、販売スペースの大幅拡張及びユニバーサルデザイン化
(不要な段差解消)

2F コトでつながる、コトがつかなく - 体験のフロア -

これまで 性質の異なる機能が混在

- ・ 観光案内、伝統工芸品展示販売、カフェ、イベントスペースがフロア内に併存
- ・ 観光案内の大量のパンフレットが大きなスペースを占有

これから 信州の食文化の体験に特化

- ・ 酒類試飲とイベントスペースという**体験的な機能**を集約
- ・ 酒類販売スペースの拡張により**品揃えの充実**を実現

改修案

- ・ 観光案内を5Fへ移設
- ・ 観光案内のスペースを改修し、バルと酒類販売を一体化した試飲スペースへリニューアル

5F

ヒトでつながる、ヒトがつなぐ - 交流のフロア -

これまで 移住・就職相談がメイン

- ・ 移住・就職相談機能
- ・ 移住・就職イベント等を開催
- ・ イベントのない時には、**相談スペース以外は無稼働**の状況

これから 関係人口の創出

- ・ 移住・就職相談機能に加え、**観光案内をフロアに集約**
- ・ **長野県にゆかりのある人**（長野県
の出身者・学生・企業、長野に
興味関心のある都会在住者等）**が
集う場**として広く活用

改修案

- ・ 相談機能（観光案内、移住・就職相談）を集約し、関係人口を創出
⇒ **長野県と首都圏をつなぐメイン空間として明確に位置付け**